

2022年7月

各 位

一般社団法人日本ダクティル鉄管協会
関 西 支 部

「日本ダクティル鉄管協会セミナー」のご案内

皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は日本ダクティル鉄管協会に対し格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当協会では上下水道事業などに携わる地方公共団体の皆様を対象に、下記のセミナーを開催させていただくことといたしました。

ご多用中とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご参加下さいませようご案内申し上げます。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては延期又は中止になる場合もございますので、予めご了承ください。

－ 記 －

1. 開催日 2022年9月13日(火) 13時20分より (受付は13時より)

2. 開催場所 建設交流館 8階グリーンホール

別添資料-1

大阪市西区立売堀2-1-2 TEL06-6543-2551

3. セミナー内容

別添資料-2

① 13:25~14:55

講演 「近年の自然災害時におけるライフライン施設の機能支障」

講師：千葉大学大学院 工学研究院融合理工学府 地球環境科学専攻 都市環境システムコース
教授 丸山 喜久様

② 15:10~16:40

講演 「水道文明と水道文化からレジリエントな水道を考える」

講師：東海国立大学機構 名古屋大学 減災連携研究センター 共創社会連携領域
准教授 平山 修久様

4. 参加費 無料(交通費は各自でご負担願います。)

5. 新型コロナ対策について

①ご参加前

ご参加前からお自身の体調管理にご留意下さい。1週間前から次の症状を自覚される場合は参加をお控え下さい。

(咳、のどの痛み、全身の倦怠感、息苦しさ、味覚の異常、頭痛、関節痛、下痢が続く等)

②ご来場時

- ・会場前で検温を実施いたします。(37.5℃を超えた場合はご参加を控えていただきます。)
 - ・会場に入る前に、手洗い・手指消毒を行い、会場内ではマスク着用をお願いします。
- 受講中、体調が悪くなった際は無理をせず弊協会関係者にお申し出ください。

6. 申込方法

別添資料-3

HPの「セミナー参加申込書」に必要事項を明記の上、申込書(Excelファイル)を、9月2日(金)までに、Eメールに添付してご送付ください。

なお、誠に勝手ながら会場の都合上、定員になり次第、申込みを締め切らせていただきます。

7. 申込書送付、ご不明点などのお問い合わせ先

(連絡先) 一般社団法人日本ダクティル鉄管協会 関西支部
宮田 [E-mail : m-miyata@jdpa.gr.jp]
TEL 06-6245-0401 FAX 06-6245-0300

以上

別添資料－ 1

建設交流館

大阪市西区立売堀 2 - 1 - 2

TEL 06-6543-2551

<交通>

地下鉄四ツ橋線

本町駅

23番出口より徒歩5分



「日本ダクティル鉄管協会セミナー」スケジュール

時 間	内 容	講 師
13:00～ 13:20	受付（建設交流館 8階 グリーンホール前）	
13:20～ 13:25	開会挨拶 および 事務連絡	
13:25～ 14:55 (90分質疑を含む)	<p>講演 『近年の自然災害時におけるライフライン施設の機能支障』</p> <p>東北地方太平洋沖地震、熊本地震、令和元年房総半島台風など近年の自然災害の際の上水道施設の被害や、それに伴い発生した断水等の機能支障の事例を紹介する。さらに、他のライフラインの事例として、都市ガスの地震防災対策に関する話題提供を行う。</p>	<p>千葉大学大学院 工学研究院融合理工学府 地球環境科学専攻 都市環境システムコース 教授 丸山 喜久様</p>
14:55～ 15:10	休 憩	
15:10～ 16:40 (90分質疑を含む)	<p>講演 『水道文明と水道文化からレジリエントな水道を考える』</p> <p>古代ローマ帝国の繁栄は、水道技術などの文明と「自分達の国は自分たちで守る」という文化に支えられていたが、インフラの老朽化等により衰退することになった。我が国では、近代水道以降、さまざまな科学技術により安全・安心な水道システムを構築してきた。これらの水道文明を礎として、今後、老朽化、技術継承、人口減少社会や気候変動などの将来の不確実性にどのように向き合うのか、水道文化という視点を織り込みながら、防災、減災からレジリエントへの転換を考える。</p>	<p>東海国立大学機構 名古屋大学 減災連携研究センター 共創社会連携領域 准教授 平山 修久様</p>
16:40～ 16:50	閉会（アンケートご記入）	

